

長谷部 弘 教授 略 歴

- 1955（昭和 30）年生（於福島県福島市）
- 1974 年 3 月 福島県立福島高等学校卒業
- 1974 年 4 月 東北大学経済学部入学（1978 年 3 月卒業）
- 1978 年 4 月 東北大学大学院経済学研究科博士課程前期課程進学（経済学専攻）
- 1983 年 3 月 東北大学大学院経済学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学
- 1983 年 4 月 東北大学経済学部 助手（1985 年 3 月迄）
- 1985 年 4 月 東北大学教養部 講師（1989 年 3 月迄）
- 1989 年 4 月 東北大学教養部 助教授（1993 年 3 月迄）
- 1993 年 4 月 東北大学大学院国際文化研究科 助教授（1999 年 3 月迄）
- 1993 年 9 月～1994 年 6 月 文部省在外研究員（Calvin Theological Seminary & Archives, Grand Rapids, Michigan, U.S.A.）
- 1996 年 3 月 博士（経済学）学位取得（東北大学）
- 1999 年 4 月 東北大学大学院経済学研究科 教授（日本経済史）
- 2021 年 3 月 定年退職
- 2021 年 4 月 東北大学名誉教授

長谷部 弘 教授 研究 業績

著書・論文・学会発表等（発表年代順）

【著書】

- 『市場経済の形成と地域』, 刀水書房, 1994年2月, 全413頁, 単著。
※博士（経済学）学位論文
- 『資本主義の発展と地方財閥—荘内風間家の研究』, 現代史料出版, 2000年6月, 担当箇所 pp. 11-148, pp. 161-180, pp. 189-208, pp. 226-232, 全545頁, 共著（他洪谷隆一・森武磨）。
- Village Communities, States, and Traders*, December, Dec. 2002, Thailand, 担当部分 pp. 231-240, Pasuk 他共著者27名。
- The Grassroots and the Neighborhood Associations : on Japan's Chonakai and Indonesia's RT/RW*, January, 2003, Grasindo, Jakarta, pp. 13-34, 吉原直樹と共著（共著者8名）。
- 『むらの社会を研究する』, 農文協, 2007年3月, pp. 172-179, 日本村落研究学会編（共著者24名）。
- 『近世村落社会の共同性を再考する—日本/西欧/アジアにおける村落社会の源を求めて—』, 日本村落研究学会編・年報村落社会研究44, 農文協発行, 2009年1月, 担当 pp. 10-37, 編著（編集責任者, 他に共著者7名）。
- 『近世日本の地域社会と共同性—近世上田領上塩尻村の総合研究I』, 刀水書房, 2009年3月, 執筆担当 pp. 47-103, pp. 124-138, pp. 255-270, 篇著（編集責任者, 他に共著者4名）。
- 『家の存続戦略と婚姻—日本・アジア・ヨーロッパ—』, 刀水書房, 2009年10月, pp. 52-70, 編著（他に編集責任者2名および共著者11名）。
- 『飢饉・市場経済・村落社会—天保の凶作からみた上塩尻村—』, 刀水書房, 2010年3月, pp. 45-68, 編著（編集代表者, 共著者5名）。
- 『東日本大震災復興研究1 東日本大震災からの地域経済復興への提言』（河北新報出版センター, 2012年3月, 第一部第一章, 中島賢太郎, 古谷豊, 柳井雅也との共著）。
- 『バリ島に生きる古文書—ロタール文書のすがた』, 東信堂, 2012年3月, 吉原直樹・中村潔らとの共著・共編訳。
- 『日本とアジアの市場の歴史』, 清文堂, 2012年9月20日, 担当部分 pp. 109-129, 原田政美らとの共著。
- Finding 'Ie' in Western Society : Historical empirical study for the paralleling and contrasting between Japan and Europe*, Matsuyama, 2013 March, 愛媛大学研究叢書シリーズ, 担当部分 pp. 1-29, Mtotoyasu Takahasi, Kraig Muldrew らとの共著。

【論文】

- 日本における近代製糸業史研究の動向—1970年代の研究史的整理として, 1982年6月, 研究年報『経済学』Vol. 44 : No. 1, pp. 105-119, 単著。
- 近世後期における生糸流通構造—信達地方の生糸買継商人, 1982年12月, 研究年報『経済学』Vol. 44 : No. 3, pp. 113-132, 単著。
- 幕藩体制社会における非領国制支配と石高制—近世奥州信達地方にみられる入り組み支配の実態とその意味, 1984年5月, 研究年報『経済学』Vol. 46 : No. 1, pp. 1-22, 単著。
- 幕藩体制支配と“ムラ”—近世入り組み支配地域の〈分村〉をめぐって, 1984年9月, 『村落社会研究』第20集, 御茶の水書房, pp. 139-172, 単著。

5. 内村鑑三の国家論—《日本国の天職》論と義戦論から非戦論への「転向」, 1987年3月, 『内村鑑三研究』第24号, pp. 24-50, 単著。
6. 幕末・明治初期における・池田友吉家の経営—福島県伊達郡における近代<地主制>の形成 (1), 1988年9月, 研究年報『経済学』Vol. 50: No. 2, pp. 75-94, 単著。
7. 唯物史観, 1989年5月, 馬渡尚憲編『マルクス経済学の現在』, 昭和堂, pp. 100-114, 単著。
※改稿して同名の論説として, 1995年5月, 馬渡尚憲編『マルクス経済学の現在 Ver. II』(昭和堂, pp. 100-114)に再収録。
8. 《村落共同体》と《家》をめぐる最近の二三の言説について, 1990年9月, 村落社会研究会『研究通信』No. 161, pp. 1-6, 単著。
9. 《日本の基督教》における国家の論理, 1990年10月, 神戸改革派神学校紀要『改革派神学』第21輯, pp. 57-77, 単著。
10. 近世後期養蚕地帯の村落構造—福島県伊達郡伏黒村の事例, 1991年10月, 『村落社会研究』第27集, 農文協, pp. 147-177, 単著。
11. 近世後期における信達地方の地域市場と掛田村佐藤家の豪農活動, 1992年2月, 『市場史研究』第10号, そしえて, pp. 31-47, 単著。
12. 現代日本農業問題の原型—戦前期日本農業問題の構図, 1992年3月, 馬渡尚憲編『現代の資本主義—構造と動態』, 御茶の水書房, pp. 210-224, 単著。
13. 経済史からみた《地域》の問題—大塚久雄の《局地的市場圏》論をめぐる, 1993年3月, 平野厚生・野中克彦編『社会・文明・環境』, 梓出版, pp. 33-45, 単著。
14. 市場経済形成期の《豪農》経営—家業・家族・地域社会, 1996年3月, シリーズ比較家族『家族と地域と社会』, 早稲田大学出版部, pp. 97-119, 単著。
15. 日本における村落共同体の発見—有賀「<家>理論」から中村「共同体論」へ, 1997年3月, 岩本由輝・國方敬司編『家と共同体』, 法政大学出版局, pp. 36-59, 単著。
16. 日本における農村共同体の解体過程—幕藩体制社会における農村社会の構造と動態, 1997年3月, 岩本由輝・國方敬司編『家と共同体』, 法政大学出版局, pp. 130-150, 単著。
17. 人の移動と社会組織—近世上田藩上塩尻村の蚕種商人と村落社会, 1998年5月, 國方敬司・長谷部弘編著『論集《ヒト》の移動』, 刀水書房, 199-219頁, 単著。
18. 市場経済の形成と村落共同体—市場経済形成史からみた村落共同体論の再検討, 2000年5月, 天野勝行・芳賀健一編『現代資本主義の現実分析』, 昭和堂, 65-78頁, 単著。
19. 地域住民組織の歴史的位相—仙台市を事例とする歴史的検討の試み, 東北都市学会『仙台都市研究』Vol. 1, 2002年7月, pp. 9-20, 単著。
20. 近世村落社会の共同性—上田藩上塩尻村五人組組織の事例研究, 日本村落研究学会『村落社会研究』No. 18, 2003年4月, pp. 8-21, 単著。
21. 上田藩領上塩尻村蚕種商人の取引活動—1833(天保4)年の分析を中心に, 研究年報『経済学』Vol. 65-4, 2004年3月, pp. 29-46, 単著。
22. 日本における近代的地方行政制度の形成と地域住民組織, 2004年3月, 『イギリス都市史研究』(日本経済評論社), pp. 333-353, イギリス都市・農村共同体研究会編(共著者15名)。
23. 近世行政村上塩尻村における行政組織と行政機能—近代的地方行政制度の形成と地域住民組織の史的分析 1, コミュニティ・自治・歴史研究会『ヘスティアとクリオ』Vol. 2, 2006年3月, pp. 34-47, 単著。
24. 大区小区制下の村—長野県小県郡上塩尻村の事例にみる<村>の連続と非連続, 2007年12月, コミュニティ・自治・歴史研究会『ヘスティアとクリオ』Vol. 5, pp. 33-54, 単著。
25. 仙台市における近代的地方財政制度の成立過程—財政制度の近代化と「二十四ヶ町共有金」, 2008年3月, 東北都市学会『仙台都市研究』Vol. 6, pp. 23-47, 単著。

26. 科学から〈物語〉へ (2), 2010年10月, 神戸改革派神学校『改革派神学』37, pp.38-51, 単著。
27. 共同性の歴史的意味—日本経済史からみた近世と近代, 2011年8月, 近世史サマーフォーラム2010実行委員会編『村落研究と歴史学—問題意識の共有と再発見』, pp.1-18, 単著。
28. 防災コミュニティの歴史的前提—「町内会」の歴史的位置づけ, 2011年3月, 『防災コミュニティの基層—東北六都市の町内会分析』(吉原直樹編, 御茶の水書房), pp.11-38, 単著。
29. 「家」を比較研究するための覚え書き—経済史研究の視点から, 2011年12月, 東北学院大学『経済学論集』第177号, pp.313-321, 単著。
30. 科学から〈物語〉へ (3), 2012年10月, 神戸改革派神学校『改革派神学』39, pp.33-54, 単著。
31. 時代の危機とキリスト者—矢内原忠雄の思想と信仰に学ぶ, 2013年9月, 袴田康裕編『世の光となる教会をめざして』, 一麦出版社, 247-300頁, 単著。
32. 村の再編—近世村落から近代村落へ, 2014年10月, 村落社会研究学会研究年報『村落社会研究』50, pp.35-72, 単著。
33. 農村社会の市場経済化と家業・家計の形成—上塩尻村佐藤善右衛門家の事例から, 2016年3月, 比較家族史学会『比較家族史研究』第30号, 弘文堂, pp.22-49, 単著。
34. 近世上田における在方市場の形成と展開—「在町商物一件」をめぐる, 2017年8月, 研究年報『経済学』第75巻3・4合併号, pp.5-17, 単著。

【書評・ディスカッションペーパー】

1. 史学・経済史学における村落研究動向, 1987年9月, 『村落社会研究』第23集, 御茶の水書房, pp.301-307, 単著。
2. 史学・経済史学における村落研究動向, 1995年11月, 『村落社会研究』第31集, 農文協, 「研究動向」pp.1-10, 単著。
3. 森芳三著『昭和初期の経済更生運動と農村計画』, 東北大学出版会「宙」4号, 1998年10月, 単著。
4. 宮田光雄『権威と服従』, 『週刊読書人』, 2003年2月12日号, 単著。
5. 2005年における村落研究動向—経済史, 2006年10月, 日本村落研究学会年報『村落社会研究』第42集, pp.251-263, 単著。
6. *Family Succession and Inheritance Strategies in the Tokugawa Japan, A case study on Kaheiji-Sato's IE in the village of Kami Shiojiri*, 東北大学経済学研究科ディスカッションペーパー No.420, 2009.
7. 書評, 中村義隆『割地慣行と他所稼ぎ』, 新潟日報, 2010年6月6日号。
8. 「あらためて中村吉治を読む—煙山調査を中心に—」, 2020年8月, 岩手県立大学総合政策学会『日本村落研究学会東北地区研究会ミニシンポジウム報告』

【自治体(市町村)史】

1. 『梁川町史 第6巻 近世資料編I』(1986年2月, 梁川町町史編纂委員会)
2. 『梁川町史 第8巻 近現代資料編I』(1987年9月, 梁川町町史編纂委員会)
3. 『梁川町史 第7巻 近世資料編II』(1988年10月, 梁川町町史編纂委員会)
4. 『梁川町史 第9巻 近現代資料編II』(1989年12月, 梁川町町史編纂委員会)
5. 『桑折町史 第7巻 近代資料』(1991年3月, 桑折町町史編纂委員会)
6. 『靈山町史 第1巻 通史篇』(1992年3月, 靈山町教育委員会)
7. 『石巻の歴史 第10巻 近現代資料篇』(1993年3月, 石巻市)
8. 『石巻の歴史 第5巻 産業経済篇』(1996年3月, 石巻市)
9. 『仙台市史・市民生活篇』(1997年5月, 仙台市史編纂委員会)
10. 『石巻の歴史 第1巻 通史・近現代篇』(1998年5月, 石巻市)
11. 『梁川町史 第2巻 通史編B 近世』(1999年3月, 梁川町)

12. 『梁川町史 第三巻 通史編 近現代』(2000年6月, 梁川町)
13. 『仙台市史・産業経済資料編』(2001年6月, 仙台市)
14. 『仙台市史・政治・行政・財政史料編8』(2006年9月, 仙台市)
15. 『仙台市史 近代1』(2008年3月, 仙台市史刊行委員会)
16. 『仙台市史 近代2』(2009年7月, 仙台市史刊行委員会)
17. 『仙台市史 現代1』(2011年5月, 仙台市史刊行委員会)

【調査報告書】

1. 旅客交通システムと自家用自動車の利用形態, 1989年4月, 地域交通と市民生活研究会編『地域の交通と市民のくらし』, pp. 145-170, ぎょうせい
2. タイの市場, 1996年11月, 『市場史研究』第16号, 139~141頁
3. ラヂオの話, 2000年6月, 仙台市史こぼればなし, 『仙台市広報』

【辞典類その他】

1. 『郷土歴史大辞典 日本歴史地名大系7 福島県の地名』(「伊達郡 霊山町 (pp. 702-708), 梁川町 (pp. 743-752)」), 1993年6月, 平凡社)
2. 講演記録「荘内商業の歴史—近代における荘内の地域経済と商業」, 1996年度『鶴岡学講座記録集』鶴岡市教育委員会
3. コミュニティ事典, 春風社, 似田貝香門・吉原直樹らと共編, 2017年7月。「大項目1」編集責任者および執筆。GHQ 民政情報教育局資料邦訳担当。全1,168頁。

【学会報告】

1. 信達地方の生糸買継商人, 第36回東北経済学会大会, 1982年10月, 於新潟大学
2. 幕藩体制支配とムラ—信達地方の入組支配, 村落社会研究会第31回大会, 1983年10月, 於茨城県
3. 幕藩体制支配とムラ—信達地方の入組支配と村落共同体, 社会経済史学会第53回全国大会, 1984年5月, 於成城大学
4. 有賀同族団論の再検討, 村落社会研究会第40回大会, 1992年10月, 於熊本県
5. 近世養蚕地帯における家業と家族, 比較家族史学会第23回大会, 1993年6月, 於東北学院大学
6. *The Expansion of the Market Economy and the Village Community in the 18-19 Centuries of Japan — A case study of the Shindatsu-District*, 3rd Thai-Japanese Seminar, October 30, 1994, Tohoku Gakuin University, Sendai, Japan
7. *The Market Economy and the Village Community in modern Japan*, the 4th Thai-Japan Seminar, December 9, 1995, Chulalongkorn University, Bangkok, Thailand
8. 荘内地方財閥風間家の地主経営, 日本村落研究学会第44回大会, 1996年10月, 於山形県南陽市
9. 近世日本における農村市場史研究の現状と展望—近世蚕種市場と蚕種仲間を事例とする若干の問題提起, 市場史研究会第31回大会, 1999年6月12日, 於同志社大学
10. *Silkworm-Eggs trading and the village in early modern Japan, an example of the formation of market economy in Japan*, 1st International workshop on Contrasting Community of England and Japan, September 4, 1999, Cambridge, U.K.
11. 近世後期上田藩領上塩尻村の村落構造と蚕種商人—蚕種市場・蚕種仲間・村落社会, 日本村落研究学会第47回大会, 1999年10月16日, 於成城大学
12. 近世後期奥州の生糸市場, 市場史研究会第35回大会, 2001年6月30日, 於東北大学
13. *Finding of Ie-Mura Community in Japan, “Dozukudan Theory” of Aruga and “Community Theory” of Nakamura*, 2nd International workshop on Contrasting Community of England and Japan, January 10-13, 2001,

Cambridge, U.K.

14. *From The Goningumi To The Kokai, Historical Case Study of Neighborhood Association in the Sendai City*, International Symposium on Grassroots Community of Indonesia and Japan, November 20, 2001 Jakarta, Indonesia
15. 近世村落社会の共同性—上田藩上塩尻村の「五人組組織」をめぐるイエとムラ, 日本村落研究学会第50回大会, 2002年10月12日, 於遠野
16. 近世日本農村社会の市場経済化と「信頼・信用」関係—イエ・ムラの諸関係と市場・仲間・金融 (愛媛大学比較経済研究会公開シンポジウム2003), 日本村落研究学会中国・四国部会, 2003年2月15日, 於愛媛大学
17. 蚕種商人村落における同族組織と取引組織, 日本村落研究学会第51回大会, 2003年10月10日, 於北海道栗山町
18. *Rural Communitality and Trading System in the Pre-modern Japan: the Case study of the Association of Silkworm Egg traders (Shinmei Ko)*, 36th World Congress of International Institute of Sociology, July 7-11, 2004, Beijing, China
19. 近世行政村の機能と運営, 日本村落研究学会第52回大会, 2004年11月13日, 於茨城県
20. 近世日本の村落社会における市場経済化と共同性の構造—信州上田藩上塩尻村の事例を中心として, 社会経済史学会第74回全国大会パネル報告, 2005年5月1日, (オーガナイズ&報告), 於一橋大学
21. 近世日本農村社会における蚕種経営と相続—上田藩上塩尻村蚕種商人佐藤善右衛門家・嘉平治家の事例から, 比較家族史学会第47回研究大会, 2005年5月28日, 於山形大学
22. 取引論から見る中央卸売市場の〈委託販売と糶〉—大野勇『糶の研究』をてがかりとして, 市場史研究会第43回大会, 2005年6月11日, 於塩竈市
23. 村落社会史研究と歴史人口学—速水融編『歴史人口学と家族史』(2003年)を手がかりに, 社会経済史学会第6回東北部会, 2005年6月25日, (単独), 於東北大学
24. 家業・家産の維持と家系—佐藤マケの事例から, 比較家族史学会第48回研究大会ミニ・シンポジウム「日英村落史的対比研究における家族・世帯・家」, 2005年11月12日, 於山形大学
25. *On the Role of Regional Community, An Analysis of the Silkworm-egg Traders' Association and Their Village Communitality in the Early Modern Japan*, Sixth European Social Science History Conference, March 23, 2006, (単独), Amsterdam, Holland
26. 近世日本における制度村の機能と村落的まとまり, 日本村落研究学会第54回大会, 2006年11月4日, (単独), 於愛知県北設楽郡東栄グリーンハウス
27. 日本における近世村落の共同性を再考する, 日本村落研究学会第55回大会, 2007年12月2日, テーマセッション・コーディネーター, 於鹿児島県南大隈町中央公民館 (南大隈町役場隣接施設)
28. *Family Succession and Inheritance Strategies in Tokugawa Japan, a case study on Kaheiji-Sato's IE in the village of Kami Shiojiri*, European Social Science History Conference, February 27, 2008, Lisbon, Portugal
29. 日本における〈家〉研究, 国際公開シンポジウム「『家』をめぐる日欧の対比研究」, 2008年3月27日, 於京都産業大学
30. *Rural Resources Management at the Tenpou-Famine in the Tokugawa Japan*, World Congress of Rural Sociology, July 7, 2008, Goyang, Korea
31. 近世後期における蚕種取引の市場構造—信州上田佐藤善右衛門家・嘉平治家の事例分析, 社会経済史学会第77回全国大会, 2008年9月27日, 於広島大学経済学部
32. 「旧上田藩上塩尻村地域: 治水をめぐる藩と村」(テーマセッション「市場経済形成期の村落社会と地域環境の制御・共生」報告), 社会経済史学会第77回全国大会, 2008年9月28日, 於広島大学経済学部

33. 大福帳記帳方式の歴史的考察—経済史と会計史のはざままで（学会招待基調講演），日本会計史学会第7回大会，2008年10月25日，於東北大学経済学部
34. 市場経済化と〈家〉—近世上田における〈家業〉の成立と在方市場，公開シンポジウム「西洋における〈家〉の発見＝日本の〈家〉の家業・家産・家名」報告，2008年12月13日，於京都産業大学経済学部
35. 経済史は何を明らかにしようとしてきたのか，国際シンポジウム「東アジア・経済史経営史の新潮流」第4報告，2009年1月17日，於東北大学
36. *Growth of Rural Trading and Ie Business in the Tokugawa Japan, A Case Study of Kami Shiojiri Village*, Cambridge Symposium Rural Community in the Tokugawa Japan, Feb. 16, 2009
37. 耀の論理—大野勇の市場論再考，市場史研究会第51回研究大会，2009年6月7日，於仙台石巻商工会議所
38. *What was the sustainable conditions of the Kami-Shiojiri People in the bad harvest of Tenpou Period?* XVth World Economic History Congress, Utrecht 2009, August 4, 2009
39. 同族団における共同性の構造—信州上田松平氏領上塩尻村佐藤一族の事例を中心に，2009年11月1日，（単独），日本村落研究学会第57回大会，於京都府綾部市
40. *Growth of Rural Trading and Ie Business in the Tokugawa Japan, A case study of Kami-Shiojiri Village*, ESSHC 2010 in Ghent, Belgium, 15 April 2010
41. 天保の凶作・飢饉への村落的対応（社会経済史学会第79回大会パネル「天保の飢饉と村落社会—上田藩上塩尻村における天保の凶作・飢饉の事例研究—」オルガナイザーおよび報告），2010年6月20日，於関西学院大学
42. *Chisui (Flood Control) and the Local Community in Tokugawa Japan; the Case Study of the Shinano River*, the environmental histories of Europe and Japan (THE OXFORD-NAGOYA ENVIRONMENT SEMINAR) Nagoya University, Japan, 8, September 2010
43. *Famine, Crises and Mutual-aid in the Kami-Shiojiri Village; the analysis of survival movement against the Famine*, Rural History 2010, international conference at the University of Sussex, UK. 15 September 2010
44. 伝統的文書（古文書）の整理・保存とその社会的活用，ウダヤナ大学（インドネシア）・東北大学・トヨタ財団ワークショップ「アジアにおける地域伝統文書保存の意義—awig awigを中心として」，Indonesia Bali Udayana University, Denpasar, 26 November 2010
45. パネル報告「農村社会の市場経済化と凶作対応—上塩尻村の事例報告」，社会経済史学会第17回東北部会，2010年12月11日，於東北大学経済学研究科
46. 上塩尻村の凶作と飢饉，TCERカンファレンス「制度・組織と経済発展」報告，2011年1月29日（土），於東京大学経済学部
47. *Viewpoint for the Comparative Study, An Attempt of Sketching on the Japanese Ie Household Family*, the 2nd Conference on 'Discover Ie', Sept. 21, 2011, Ueda Japan
48. 家連合同族・姻戚関係—佐藤（藤本）マケを事例として，日本村落研究学会第59回大会，2011年10月29日，於熊本県小国町
49. *Some Comments for the Comparative Study of the Ie, From an Economic History Perspective*, international joint seminar, "Finding 'Ie' in Western Society", 20th February, 2012, Queens' College, Cambridge University, and international workshop, 'Family, Property and markets' University of Muenster, February 22, 2012
50. パネル「近世村落における市場経済化と共同体の構造」発表（蚕種取引と共同性Ⅱ 上層蚕種家の蚕種取引），社会経済史学会第81回全国大会，2012年5月13日，於名古屋大学経済学研究科（東山キャンパス）

51. *On the Social Durability against Famine in the Japanese Rural Village*, IRSA XIII World Congress of Rural Sociology, Lisbon, Aug 03 2012, 'Poverty' and Famines in Historical Perspective : Seeking the General in Particular in Kami-shiojiri, Ueda in 19th Century Japan
52. 近世村落における庄屋文書資料体系に関する一試論—上田領上塩尻村における村落史料が語るもの—, 仙台近世史フォーラム, 2013年1月13日, 於東北学院大学サテライトステーション
53. *Revived Discussions for the Comparative Study of 'Ie' family and the family group in the Japanese rural society*, INTERNATIONAL SEMINAR, Finding 'Ie' in Western Society : Historical demonstrative study for the paralleling and contrasting between Japan and Europe, 1st session 'Ie' in Japan, Feb. 19, 2013, Université de Cergy-Pontoise
54. 村の再編—上塩尻村に見られる近世村落の構造, 日本村落研究学会シンポジウム研究会, 2013年4月20日, 於青山学院大学
55. 近世上田における在方市場の形成について, 市場史研究会第59回大会, 2013年6月29日, 於大阪大学
56. *Governance System of Flood Control in Tokugawa Japan : as the case study on the coexisting system of human being and nature in Echigo Plain*, 21 August, 2013, 2nd International Rural History Conference, Bern, Switzerland
57. 村の再編—近世村落から近代村落へ, 2013年度日本村落研究学会大会テーマセッション基調報告, 2013年11月24日, 於越前市市民センター
58. *On the Family Budget of rural farmers in the 18-19th Centuries Kami-shiojiri*, the ESSHC conference in Vienna, Austria, 23-26 April 2014
59. 近世越後平野における治水と防水の支配・管理構造—水害常襲地帯における共生システムの事例分析, 社会経済史学会第8回全国大会パネル報告, 2014年5月25日, 於同志社大学
60. 近世上田における在方市場の展開について—「在方商物一件」の真相, 市場史研究会第61回大会, 2014年7月6日, 於立教大学
61. 西蒲原地方における治水と防水の共同性—防災の視点からみた村組の機能と組織, 日本村落研究学会第62回全国大会, 2014年11月1日, 於宮古市
62. 佐藤善右衛門家の蚕種経営と家計—上塩尻村の家々における「家計」の成立, 比較家族史学会2014年度秋季大会, 2014年11月15日, 於愛媛大学
63. *The Historical Analysis of durable power to the Tenpou Famine ; a case study of Kami-Shiojiri Village*, The Rural History 2015 Conference in Girona, September 8, University of Girona, Spain
64. 市場論と市場研究—福田敬太郎の市場論を中心に, 市場史研究会2015年秋季大会, 2015年11月21日, 於東北大学経済学部
65. 北部バリ, スクンプル村の村落構造—その歴史と変化, バリ・カンファランス「バリ社会の変貌とバリ = 日交流」, 2016年8月31日, 於インドネシア・バリ州・ガネーシャ教育大学
66. 北部バリ村落における共同性の構造—インドネシア・バリ島スクンプル村の実態調査報告, 日本村落研究学会第65回大会, 2017年11月11日, 於浜松市天竜区春野町
67. バリ山村の観光開発と共同性の現在—インドネシア・バリ島スクンプル村実態調査報告2, 日本村落研究学会第66回大会, 2018年10月26日, 於宮崎県西臼杵郡高千穂町ゆめゆめプラザ・TAC, イ・カデ・アンタルティカ (ガネーシャ教育大学) との共同報告
68. *The livelihood of the people who have been in the wetlands are in early modern Japan*, Futoshi Yamauchi, Yoshiyuki Murayama and Hasebe Hiroshi, 4th International Rural History Conference Paris, France 12 September, 2019
69. 南部二戸郡浅沢 (荒沢) 村石神部落の経済史的諸条件—石神調査研究の中間報告 (王慧子と共同報告), 2019年11月9日, 日本村落研究学会第67回大会, 於宮城県仙台市

70. 経済史における市場と共同性研究の意義—上塩尻村研究でやろうとしたこと、わかったこと、そして今後やりたいこと、2019年12月6日、近畿大学経済学研究会、於近畿大学経済学部（東大阪キャンパス）
71. 近世日本農村の市場経済化と家業・家産の形成プロセス—信州上田上塩尻村、佐藤善右衛門家の事例研究—、2020年11月21日、日本村落研究学会第68回大会、オンライン

【講演・研究報告】

1. 科学から〈物語〉へ、2005年4月8日、日本キリスト改革派神戸改革派神学校開校記念講演、於神戸改革派神学校
2. 藩財政の解体から近代財政の確立へ—仙台市財政の近代化とその展開、仙台市史第16回セミナー、2006年11月18日、(単独)、仙台市博物館
3. 近代東北の産業開発と相馬—蚕糸業と半谷清寿、相馬市文化講演会、2007年10月20日、相馬市民会館
4. 市場経済化と〈家〉・〈同族〉・共同性、村落の共同性研究会ケンブリッジ・プレ・セミナー、2009年2月1日、於愛媛大学サテライトオフィス東京
5. 太閤検地と徳川時代の土地所有一割地制度研究のための予備的考察、割地制度研究会、2009年3月20日、於新潟大学
6. 共同性の歴史的意味—日本経済史からみた近世と近代、2010年10月16日、近世史サマーフォーラム2010、於大阪市立弁天町市民学習センター
7. 近世越後の地域支配と中郷屋村の村落運営、新潟割地研究会、2012年3月18日、於新潟市西蒲区巻町
8. 市場における自由と規制—大野勇の中央卸売市場論、仙台市仲卸協会研修会、2013年2月5日、於仙台市中央卸売市場
9. 近世日本における〈藩地域〉—荒武・渡辺編『近世後期大名家の領政機構』の研究成果を巡って、松代藩研究会、2013年3月16日、於すみだ郷土文化資料館（東京都）
10. 土地用益権の歴史的的前提—近世的土地所有権の性格について、『岩波講座 日本経済の歴史』研究会、2014年8月5日、於一橋大学経済研究所/佐野書院
11. 上塩尻村蚕種商い事始め—いつ蚕種商いが始まった？、上塩尻今昔の会、2014年10月4日、於長野県上田市上塩尻公民館
12. コミュニティ論と村落研究の現在、コミュニティ研究会、2015年6月13日、於東北大学経済学部
13. 齋藤・大鎌・両角編著『自治村落の基本構造』について—われわれは自治村落論から何を学ぶか、「共同体と国家」研究会、2016年3月5日、於東北大学経済学部
14. バリにおける市場経済化と村落の共同性の諸相—スクンプル村のチョウジ生産とスクラドゥ家、「市場経済形成期における村落の共同性の社会経済史的比較研究—日本とバリ—」研究会、2016年3月13日、於新潟大学
15. 近世上田の蚕種業と蚕種市場—佐藤善右衛門家、佐藤嘉平治家の蚕種経営を中心に、市場経済と共同性研究会、2016年3月29日、於サテライトオフィス東京
16. 近世越後西蒲原地方における治水の支配・管理構造—水害常襲地帯における「共生」機構の事例分析、新潟地割地研究会、2016年3月14日、於新潟大学
17. 経済史から見た有賀喜左衛門—農村社会の市場経済化研究への一試論、神奈川大学常民文化研究所シンポジウム「日本農村社会学の始点」、2017年2月28日、於神奈川大学
18. 最近のコミュニティ研究の動向について—『コミュニティ事典』（春風社、2017年刊）の発刊に寄せて、村落研究学会定期研究会（第一回）、2018年4月21日、於東京農業大学
19. 中村史学再考—煙山調査から学ぶ、日本村落研究学会東北地区研究会、2018年10月6日、於いわ

て県民情報交流センター

20. 昭和期の二戸郡—岩手県統計書による「石神」の位置付け，石神研究会，2019年3月15日，於盛岡市アリーナ岩手県立大学学習室